

県医師連盟機関紙
第22号
発行責任者
県医師連盟委員長 牧角寛郎
令和 7 年 6 月 20 日

鹿児島県医師連盟新聞

編集・発行
鹿児島県医師連盟
鹿児島市中央町 8 - 1
電話 099-213-1011
FAX 099-213-1012
印刷 南日本新聞開発センター

かまやちさとし氏(全国)そのだ修光氏(鹿児島)を激励 総決起大会に支援者約400人が参加



参院選7月20日投開票

第27回参議院議員通常選挙は、7月3日公示、7月20日投開票の日程で行われる。本選挙には、現日本医師会副会長で、日本医師連盟の組織内候補予定者である、かまやちさとし氏が、全国比例区から立候補を予定している。鹿児島県医師連盟では、全国比例区候補予定者のかまやち氏と、鹿児島県選挙区における自民党公認候補予定者である、そのだ修光氏を推薦しており、郡市医師連盟などと連携を図りながら、支援活動を展開している。

かまやち氏、そのだ氏が決意表明

鹿児島県医師連盟は、5月27日午後7時から鹿児島県医師会館4階大ホールで、かまやちさとし氏(日医副会長)とそのだ修光氏(元参議院議員)の総決起大会を開催した。県医師連盟や県介護福祉政治連盟、県柔道整復師連盟、県鍼灸マッサージ師連盟など県内の医療・介護・福祉関連団体から支援者約400人が参加し、両氏を激励した。冒頭、県医師連盟の牧角寛郎委員長が「鹿児島県医師連盟は、県内各地域の郡市医師連盟組織はもとより、多くの医療関係団体と協力し、総力をあげて支援活動に取り組んでいる。お二人には医療と介護の未来のために力を奮っていただきたい」と激励し、その後、自民党鹿児島県連の吉留厚宏幹事長と県介護福祉政治連盟の松村武久会長、日本医師連盟の今村英仁参与があいさつした。このほか、参議院議員の自見はなこ氏と日本医師連盟の松本吉郎委員長からのビデオメッセージが会場で放映され、当日出席がかなわなかった自民党幹事長・鹿児島県連会長の森山裕衆議院議員や尾辻秀久参議院議員の祝文も読み上げられた。

両氏の決意表明では、かまやち氏は「現在の医療・介護・福祉の現場を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。この状況を何とか変え、地域の方に安定的に医療・介護のサービスが提供できるように、そして医療・介護分野に従事している方が安心して働くことができるようしっかりと取り組んでまいりたい」と述べた。そのだ氏は「国民皆保険制度・介護保険制度崩壊の危機が目前に迫っている。医療と介護の現場で働く方々の声を国に強く訴え、両制度を守るため尽力したい」と力を込めた。

最後に鹿児島県鍼灸マッサージ師連盟の松本吉郎委員長が6月1日(日)に鹿児島入りし、県医師連盟、始良地区医師連盟、介護施設団体の関係者と懇談した。松本氏は、「令和8年度の診療報酬改定に向け『高齢化の伸びの範囲内に抑制する』という社会保障予算の目安対応を廃止し、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する」と意気込みを述べた。

参議院議員選挙における「投票方法」と「期日前投票制度」について

《投票方法について》

参議院議員選挙では、有権者は2枚の投票用紙で投票を行います。

- 1 枚目(選挙区)・・・選挙区の候補者氏名を記入
- 2 枚目(比例代表)・・・候補者氏名または政党名を記入

※比例代表は、政党内の名簿の順位はあらかじめ決まっておらず、**「候補者氏名」の投票数が多い順に、名簿の順位が並び替えられます。**比例代表選挙において、特定の候補者を応援したい場合は、**2枚目の投票用紙に「候補者氏名」を記入することが重要です。**

《期日前投票について》

選挙公示日の翌日から投票日前日まで、選挙当日に仕事や用事があって投票に行けない方でも、**市町村の役所や指定された投票所で「期日前投票」が可能です。**期日前投票ができる場所や時間帯は選挙公示後に県や市町村のホームページなどで公開されます。また、**期日前投票所で発行される「投票済証」**を指定の飲食店などで提示し、**お得なサービスが受けられる「選挙割」**なども利用できます。

日本医師会副会長 かまやち さとし (金落 敏) プロフィール

医師／医学博士／日本小児科学会／日本小児科医会／日本小児神経学会 会員
趣味 阿波踊り、茶道
1953年 7月5日群馬県高崎市生まれ 巳年、かに座
1972年 東京教育大学附属駒場高校卒業
1978年 日本医科大学医学部卒業
1978年 日本医科大学付属第一病院小児科入局
1988年 小泉小児科医院院長
2005年 高崎市医師会会長
2011年 群馬県医師会参与
2014年 日本医師会常任理事
2020年 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議構成員
新型コロナウイルスアドバイザリーボード構成員
2023年 新型インフルエンザ等対策推進会議委員
2024年 日本医師会副会長
自民党参議院比例区(全国区)支部長



日本医師連盟 松本吉郎委員長が来鹿

日本医師連盟の松本吉郎委員長が6月1日(日)に鹿児島入りし、県医師連盟、始良地区医師連盟、介護施設団体の関係者と懇談した。松本氏は、「令和8年度の診療報酬改定に向け『高齢化の伸びの範囲内に抑制する』という社会保障予算の目安対応を廃止し、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する」と意気込みを述べた。



に鹿児島入りし、県医師連盟、始良地区医師連盟、介護施設団体の関係者と懇談した。松本氏は、「令和8年度の診療報酬改定に向け『高齢化の伸びの範囲内に抑制する』という社会保障予算の目安対応を廃止し、賃金・物価の上昇に応じて適切に対応する」と意気込みを述べた。

診療報酬の新たな仕組みの導入や、小児医療・周産期体制の強力な方策の検討が必要である」と述べ、現在の医療・介護現場を取り巻く厳しい環境改善のために、国への働きかけに尽力していると報告した。その後、「国を動かすため地域の先生方もわれわれと一緒に頑張ってほしい」と要望した。松本氏は、7月6日(日)にも来鹿し、鹿児島市医師連盟関係者との懇談を予定している。



県議 8 年、衆議院 4 年、参議院 6 年の経験を活かす

地元企業の支援、農林水産業や観光業の振興、新しい産業の誘致、後継者育成、女性活躍推進。

小中学校の給食無償化など子育て支援の強化、ICT教育の推進、次世代育成。

地域医療介護の充実、医療介護デジタル化の促進、健康づくりで健康寿命延伸。

自然災害に強い地域づくり、防災・減災対策、郵便局を公共の基盤として活用。

奄美大島など島嶼部の振興、国土防衛への貢献、次の世代に海洋マリーナ構想。

